
この空を僕に。

狐々薄斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

この空を僕に。

【Nコード】

N7154L

【作者名】

狐々薄斗

【あらすじ】

【貴方はどこまで、奇跡を信じていますか？】

家族を失くした俺の前に、ある日突然、現れた少女。

彼女は俺のことを『お兄ちゃん』と呼ぶ。

しかし俺には妹などいなかった。生まれる事の叶わなかった、一人意外は。

戸惑う俺を見て少女は言った。

本などで幾度か聞いた世界——パラレルワールドから、自分は来たのだと。

この世と連鎖する、異世界から来たと。
嘘には思えなかった。
俺は信じたかった。
その奇跡を。

プロローグ（前書き）

この小説で云う【パラレルワールド】は、

- ・自分と同じ人間がいる。
- ・ただその運命は違う。
- ・死ぬる時も違う。

というリア鬼などに出てくるものとは少々異なります。ご承知ください。

宜しくお願い致します。

ブローグ

ふと、空を見上げた。

その姿は、間違っても綺麗だとは言えなかった。

雲が、多いからではない。

雨が、土砂降りなわけでもない。

ただ、彼の瞳が、

酷く、濁っていたのだった。

* * *

色とりどりの花を持ち墓へ向かう。

母と父、そしてうまれる事の叶わなかった、妹の。

（もう七年も経つんだな。）

いりえすい
入江慧。歳は今年で21の、大学生だ。

彼に家族はいない。事故で皆、失った。

祖父母は既に他界。

当時14の彼には重く、辛い事実であった。

親の知り合いの夫婦に育てられたが、うまく溶け込むことはできなかった。

今は地元と離れた土地で一人暮らしだ。

大学に通いながら働き、夫婦に中・高の学費を返しながら生活している。

【彼は奇跡が起こる事を、自分に幸福が訪れることを。】

コツコツと、アスファルトの道を進む。汗が少し出ていた。
（暑くなってきたな。）

【誰よりも強く、儚く望んだ。】

花が乾燥しない様にと、彼は足を急がせた。
スピードは増して行く。

【けれど】

どんつ。

「わ！」

人にぶつかった。しかも女性に。

【案外その奇跡は】

「す、すみません。」

彼は大声で謝罪をした。

【既に彼の手が届く程、近くにあった。】

プロローグ（後書き）

結構長くなるかと思えます。

お気を長く付き合って頂けたら、光栄です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7154/>

この空を僕に。

2010年10月9日05時01分発行